

# 歴史を大切に、高齢者や子ども達が 暮らしやすい習志野市を目指します



被災者の皆様、心よりお見舞い申し上げます。

さかい もとあき  
**坂井 元昭**

## 藤崎地区の水害対策に関わって

藤崎地区及び津田沼地区の二十数年前は、毎年、道路冠水、床下、床上浸水被害が頻発していました。市には予算が無く対策が取れません。当時、白鷺町会長だった私は、知り合いの岩崎アケさんも水害問題で懸命になっている事を知り、二人で発起人となり、「水害対策委員会」を設立しました。



水害対策を行った藤崎地区

立本英機千葉大教授（当時）に委員長をお願いし、交渉に全面的にあたっていただきました。地元の大勢の委員さんのご協力、なかでも岩崎アケさんが浜田幸一議員に直談判し、100億円もの予算を獲得したことで、二十年はかかると言われていた藤崎地区の本格下水道が完成したのです。

土手は普通のコンクリート壁の予定でしたが、当時の市の下水道建設担当A氏K氏等の尽力で、写真のようなアジサイの咲く立派な景観になりました。

地元の皆さんとの協力で事業を成し遂げたことは、私の人生の貴重な体験でした。この経験を活かし、市民に必要な市政を求めて行きたいと思います。

### ■坂井元昭のプロフィール■

昭和 14 年

父、大久保駅南に洋食屋「江戸家食堂」開業

昭和 15 年 11 月 11 日

坂井元昭 生まれる。

習志野市立大久保小学校卒

習志野市立第二中学卒

千葉県立千葉工業高校機械科卒

自動車整備士として、約 5 年間勤務の後、

家業の江戸家食堂を継ぐ

現在 江戸家ぎょうざ 店主

大久保商店街協同組合専務理事

大久保インターネット商店街運営委員

習志野市観光プロジェクト委員

千葉工業高校同窓会京葉支部幹事

〒275-0017 習志野市藤崎 4-8-43 Tel 047-475-3468

【事務所】 〒275-0011 習志野市大久保 1-29-6

Tel 047-475-3100

[http://www.edoyagyouza.com/index\\_senkyo.html](http://www.edoyagyouza.com/index_senkyo.html)



大久保商店街主催の震災支援事業に協力しました。



HP トップ → 坂井元昭のページ

## 日本の歴史を作ってきた高齢者を大切に作る町に

今の社会は、戦後、何も無いところから庶民の努力で築きあげられました。その多くの庶民（今の高齢者）に、今こそやさしい心と思いやりの予算が必要です。わたし達庶民が安心して老後を迎えられるような社会を作るために私は働きます。

- ◎ 特別養護老人ホームの増設、施設やサービスの充実を目指します。
- ◎ 介護の相談窓口を充実させ、介護の支援、サポート体制を作ります。
- ◎ 介護報酬の増額を求め、雇用者の賃金増額、地位向上を求めます。



わたし達は、いつ入院、介護が必要になるかわかりません。福祉の充実、と言っても、お金持ちの老人が入れるような施設ばかり作り、介護、国保料は値上げされています。高齢者、障害者に対する制度も悪くなるばかりです。予算は、本当に困っている人たちのために配分すべきです。

## 安心して子育てが出来る環境を作ります

- ◎ 公立保育所の存続を！子ども園整備計画の見直しを求めます。
- ◎ 公立幼稚園や保育所の統廃合計画の見直しを求めます。
- ◎ 保育所は公立で！待機児童ゼロを目指します。

子育て世代のお母さん、お父さんが安心して働く環境を整える為には、保育所の充実が必要だと考えます。

保育所の民間委託は、サービスや職員待遇の低下、保育費用の高騰などが、既に他市で問題化している事もあり反対です。

「文教住宅都市」を宣言している習志野市では、公立の保育所を今まで通り運営し、時間外保育などを充実すべきです。



## 歴史資産を活用して、まちづくり観光を

- ◎ 習志野市の歴史資料、資産を展示し、誰もが学べるようにします。
- ◎ 観光による消費拡大、商店街活性化を推進します。
- ◎ 観光課の設置を求めます。

大久保商店街がNHKの番組で「坂の上の雲で商店街を元気に」と取り上げられたように、習志野市の歴史は貴重な資産です。

習志野市には郷土資料館が無いので、貴重な歴史資料が他市へ流出しています。歴史資料の展示、保存の方法を考える事が必要です。

また、市役所の現状では、関係各部が連携を取りにくいので、それらをまとめるような観光課の設置を求めます。



観光イベント「習志野物語～交流編～」では歴史展示の説明員を担当しました。

## 議員はボランティア精神で、議員報酬は日当制で

- ◎ 今、必要なところへ手厚い予算を！
- ◎ 必要な予算は議員報酬カットで賄う！

アメリカの地方議員は年間65万円程度の報酬で議員の仕事をしています。習志野市では、財政難を理由に、福祉、教育などを次々と民間に委託する政策を進めていますが、議員報酬を減らせば財源は生まれます。地方議員こそ、ボランティア精神で、習志野市のために尽くす事が必要なのです。